

## 事後内部評価シート

|              |  |
|--------------|--|
| 調査研究課題名      | マルチモーダルな交通計画の評価手法に関する研究<br>英国のアプローチ  |
| 担当者          | 主任研究官 野澤 和行  |
| 当初目標と目標達成度   | 英国政府から入手したマルチモーダルな交通計画の評価手法のガイダンス及びその適用事例に関する資料を抄訳し、その特徴を分析するという当初目標を達することができた。  |
| 調査研究内容の妥当性   | 調査研究の対象とした英国のガイダンスは、マルチモーダルな交通戦略の策定とその評価手法を内容としているのみならず、交通政策と土地利用政策との連携や環境影響評価との一体化についてもその内容としており、我が国において、交通政策や土地利用政策との融合・連携方策や環境影響評価との関係を、今後、考えていくに当たって、多くの示唆が含まれていた。 |
| 調査研究の仕組みの妥当性 | 英国政府より入手した資料の抄訳に当たっては、英国の交通制度や交通政策と土地利用政策の連携等の事情に精通した外部コンサルタントに委託し、その抄訳を国土交通政策研究所において分析することとし、効率的に作業を進めることができた。  |
| 成果と活用        | 政策課題勉強会にて研究成果を発表し、省内関係部局と意見交換を行った。<br>連携施策の担当課に説明し、意見交換を行った。   |
| その他          | 第8回政策課題勉強会（2002年7月開催）にて発表。<br>PRI Review 第4号（2002年春季）に掲載し、関係者に配布済。   |